



議会での指摘通りに成って行く？！ 東部クリーンセンター火災事故の流れ

「検察の決定を待って」「民事裁判を起す」との説明でした。議会では、原因者が自分の責任を「全て責任が無い」と表明している現状から「検察の決定を待たず」「速やかに民事裁判に踏み切るべきである」と指摘をして来ました。施設建設費は原因者の責任を裁判で明確にしなければ「市民に税金支出の説明が出来ない」と指摘してきました。

事故当時の細江（前）市長は「検察の決定を待って」「最も良い時期に」との発言でした。「最も良い時期」とは、**いつ**だったのでしょうか？

検察の**不起訴不当**を申し出るべき

「最も良い時期」とは、「細江氏が市長を辞めた」時期でしょうか？ 細江氏の責任を回避する為に時間を掛けたとすると「行政マンは定年になったら全て免責という気持ちがあるのではないか」（細江氏記事）の発言が、同一人物から発せられたとは思えない。

民事裁判を速やかに起こし、岐阜市の態度を「市民にも検察にも明確に」し「起訴」を期待すべきでした。「不起訴」で民事がやりにくくなったのは、誰の目にも明確です。細江氏時代に予算化した弁護士費用は「実行」する気があるのでしょうか？ 驚く事に、原因者が市職員を告発と報道。「真摯な対応」「誠実」とは程遠いが、この業者に東部クリーンの業務委託が継続されています。岐阜市と業者の力関係は、どう理解すればよいのでしょうか？ まずは、「検察の不起訴不当」を審査会に申し出るべきでしょう。

新庁舎は**一社随意契約**・・・？

無所属クラブでの総務関連議案の精読の場。服部議員から「新庁舎工事の落札JVがDに決定されたような情報があるが、事実か？」との質問がされました。「いや、現在審査中です。」の回答。しかし、明くる日には「清水JV入札辞退」のニュースが流れました。契約課から説明に来られたが「昨日の何時に辞退の申し出があったのか？」の質問には明言無いまま退席。

リニア新幹線談合問題では、以前、副市長に新庁舎建設問題で申し入れた時に、疑いの言われる企業のJVを参加させる危険性について指摘していました。清水JVが約1億8千万円低価格で入札し辞退、大日本土木JVが残った。経過へ疑問の声がある。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

入札価格の低いJVが辞退し、残ったのは約1億8千万円高い入札をした大日本土木のJVです。しかも辞退は「審査中」で理由は「談合捜査」。入札参加時点で危険性は把握済みでは？ これで、公平な入札と言えるのか？ と、市民の声が聞こえます。

前川喜平さん プロフィール



1955年奈良県生まれ。東京大学法学部卒後、1979年に文部省（当時）へ入省。

宮城県教育委員会行政課長などを経て、2001年に文部科学省初等中等教職員課長。2010年に大臣総括審議官、2012年に官房長、2013年に初等中等教育局長、2014年に文部科学審議官、2016年に文部事務次官を歴任。2017年1月、事務次官を退任。

記者会見で「行政がゆがめられた」と発言し注目を浴びる。同年7月には国会の閉会中審査に参考人として出席。現在は、自主夜間中学のスタッフ、学習支援ボランティアや講演活動を行っている。

「前川喜平さん講演会inぎふ」実行委員会パンフより

生きてほしかった・・・

3月10日夕方の5時過ぎ、岐阜市民会館前は長蛇の列。開場は17時40分と案内されていましたが、17時には300人を超す列になり、開場前には列は消防署まで伸びました。会場は2階席まで満席。

森友問題に関して、財務省職員自殺に関する質問には、ご家族への思いと言葉を選びながら「生きてやるべきことをしてほしかった」と絞り出す様に語られた。

「忬度」「議員と官僚」「国民の為に働く公務員。安定した労働条件と大過なく退職目指す人。権力志向の人。3種類いる。」など歯に衣着せぬ講演に参加者の耳が傾けられました。「今やるべきことは憲法を守る事」が結びの言葉でした。



松原のりかず
☎058-253-2500